

## 不審電話に関する事例

### 事案①

4月か5月頃、日向市在住の被保険者宅に後期高齢者医療広域連合の職員と名乗る男性が来訪。「マイナンバーが悪用されているので、消す作業に手数料が必要」とのことで、3,000円から4,000円を支払った。不審に思った被保険者本人が、通っている施術所に話をし、施術所から広域連合に報告があったことで、本事案が発覚した。

### 事案②

5月25日13時半頃、市役所国民健康保険課「アサノ」と名乗る男性から女性の被保険者に電話があった。「医療費還付が22,000円あるので手続きが必要です。以前手続きの書類を送ったが届いてますか」との内容であったが、そんなはずはないと思い、電話を切った後市役所に確認の電話を入れたことにより、本事案が発覚した。言葉づかいも丁寧で、非常に電話の対応が上手だったので驚いたとのことだった。

### 事案③

4月14日10時頃、市役所ほけん課職員「ハラダ」と名乗る男性から、小林市在住の76歳被保険者女性宅へ電話があった。「1月に送付した保険の累積の手紙は届いていないですか」と言われ、「分からない」と答えると「身分証があれば大丈夫なので持ってきてほしい」と言われたため不審に思い、本人が市役所に来庁したことにより、本事案が発覚した。

### 事案④

4月14日10時半頃、小林市在住の被保険者男性宅に市役所保険年金課「ハラダ」と名乗る男性から電話があった。「1月10日に送付した保険料の還付の手紙は届いていないか」と言われ、「宮崎銀行本店」での手続きを促された。不審に思った本人が市役所に問い合わせをしたことにより、本事案が発覚した。警察にも連絡するとのことであった。

### 事案⑤

5月24日11時半頃、村役場職員「イマムラ」と名乗る者から、西米良村在住の78歳被保険者女性宅に電話があった。「後期高齢者医療保険料は年金から差し引いていますよね」と

聞かれ、「はい」と答えると、「30,000円くらい返ってきます」と言われた。「2月頃に通知を送ったが、3月31日で期限が切れているため、こっちでなんとかするので口座を教えてください」と言われた。「JA（農協）」と答えると、「JAとは、どこ」と聞かれたため、村職員にJAと言ってわからない人はいない、と少し不安に思ったが携帯番号を聞かれ教えてしまった。その後被保険者が村役場に来庁し、問い合わせたことにより本事案が発覚した。

**不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。**

**問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合**

**0985-62-0921（業務課）**